

TOTO

施工説明書

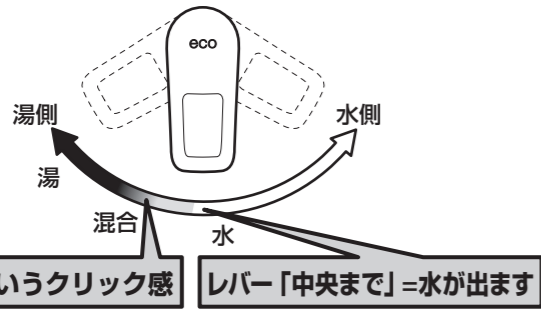
シングルレバーカートリッジ

THF29型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

この商品は、「エコシングル水栓」専用の補修用カートリッジです。
今お使いの商品が「エコシングル水栓」であることを確認のうえ、取り付けてください。

エコシングル水栓

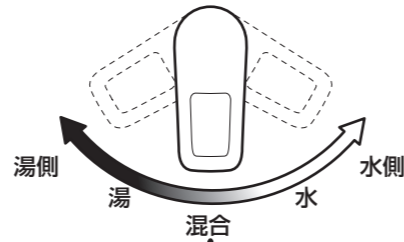


「カチッ」というクリック感 **レバー「中央まで」=水が出ます**

- ①レバー中央までは「水」が出ます。
- ②レバーハンドルの水と湯の境にクリック感があります。
- ③レバーハンドル上面に「eco」と表記しております。
- ④水栓本体またはその付近に使いかたラベルを貼り付けています。
(お客様がはがしている場合があります。)



通常のシングルレバー水栓



レバー中央では湯と水が混ざって出ます

注意

エコシングル水栓以外のシングルレバー水栓のカートリッジを交換し、「エコシングル水栓」として使用しないでください。
商品の品番ラベルと異なる仕様になり、万一の場合、トラブルの原因となります。

4 取替方法

水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

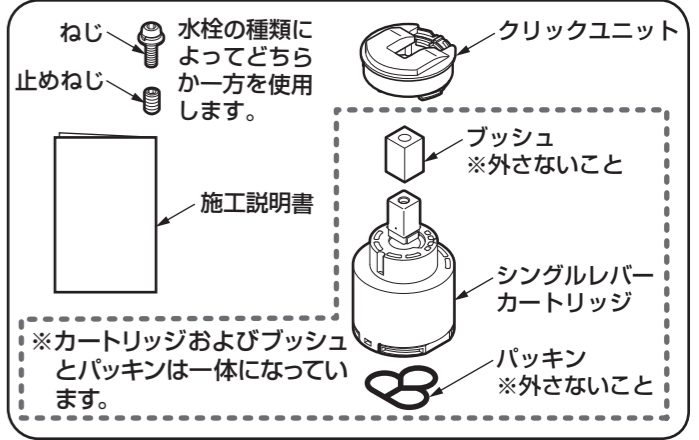
強制 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意

分解禁止 カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない
特殊組立をしておりますので、破損します。

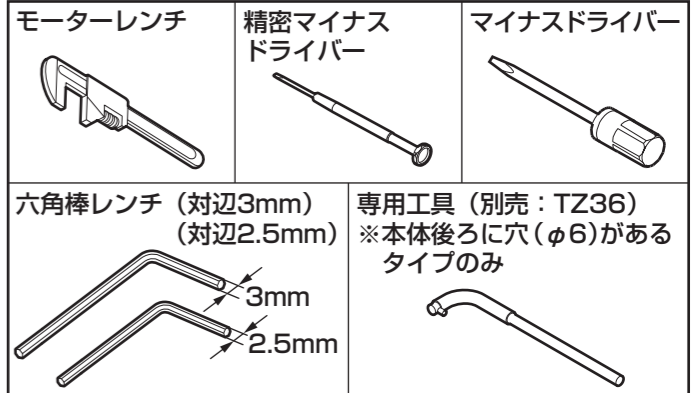
必ず実行 カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う
湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 部品の確認



3 取り付け前に

カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。



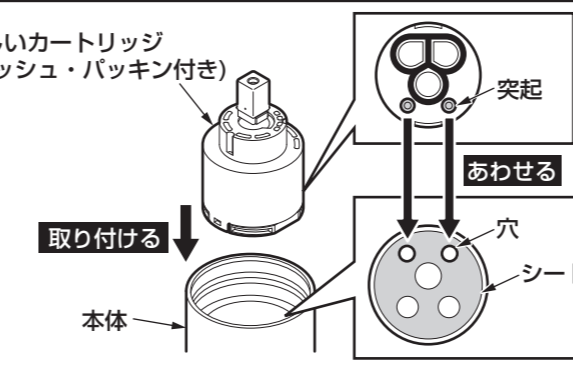
対象品番	TKHG30型・TKHG31型・TKHG32型 TKHG38型・TLHG30型・TLHG31型	TL488型・TL489型	TL385型	TKN35型	TKGG30型・TKGG31型 TKGG33型・TKGG36型
1 止水栓、または元栓を閉める	湯側・水側の止水栓または元栓を閉める。				
2 レバーハンドルの取り外し	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドル正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。 ②レバーハンドルを上げる。 ③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ④レバーハンドルを上方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドル正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。 ②レバーハンドルを上げる。 ③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ④レバーハンドルを横方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドル上面のキャップを精密マイナスドライバーで取り外す。 ②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドルを湯側いっぱいにする。 ②切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで回し、インデックスを取り外す。 ③ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ④レバーハンドルを横方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドル正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。 ②レバーハンドルを上げる。 ③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ④レバーハンドルを上方向へ引き抜く。

対象品番	TKHG30型・TKHG31型・TKHG32型 TKHG38型・TLHG30型・TLHG31型	TL488型・TL489型	TL385型	TKN35型	TKGG30型・TKGG31型 TKGG33型・TKGG36型
3 クリックユニットの取り外し	<p>① 押さえを外す。 または クリックユニットを精密マイナスドライバーで外す。</p> <p>② クリックユニットを精密マイナスドライバーで外す。</p>	<p>① 押さえを外す。 または クリックユニットを精密マイナスドライバーで外す。</p> <p>② クリックユニットを精密マイナスドライバーで外す。</p>	<p>① 樹脂カバーを手で上向きに真っすぐに引き抜く。</p> <p>② クリックユニットを精密マイナスドライバーで外す。</p>	<p>① 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで回し、カバーを取り外す。</p> <p>注意 カバーを落とさないようささえながら外してください。</p> <p>② クリックユニットを外す。</p>	<p>① カバーを手で矢印の方向に回し上方向に引き抜く。</p> <p>② クリックユニットを外す。</p>
4 カートリッジ押さえの取り外し	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p>注意 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売: TZ36)で水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p>	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p>	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p>注意 樹脂カバー付きタイプは本体下部の二面取りをモーターレンチで固定し、水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p>	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p>注意 モンキーレンチ、プライヤーやパイプレンチは使用しないでください。十分に締め込みができなかったり、部品に傷がついたりするおそれがあります。</p>	<p>六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじをゆるめ、カートリッジ押さえ部を上向きに取り外す。</p> <p>注意 ※カートリッジ押さえ部は分解しないでください。</p>
5 カートリッジの取り外し	<p>① カートリッジを取り外す。</p> <p>② 本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。</p>				
6 新しいカートリッジのレバーの位置あわせ	<p>新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。</p> <p>正しい位置</p> <p>ずれている <レバーの方向> <レバーの倒れ></p> <p>ずれている場合は、レバーを動かし正しい位置にあわせる</p>				
7 新しいクリックユニットの位置あわせ	<p>新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。</p> <p>注意 必ず新しいクリックユニットを使用してください。</p> <p>正しい位置</p> <p>ずれている</p> <p>ずれている場合は、黒い部品を動かし正しい位置にあわせる</p>				

対象品番	TKHG30型・TKHG31型・TKHG32型 TKHG38型・TLHG30型・TLHG31型	TL488型・TL489型	TL385型	TKN35型	TKGG30型・TKGG31型 TKGG33型・TKGG36型
------	--	---------------	--------	--------	------------------------------------

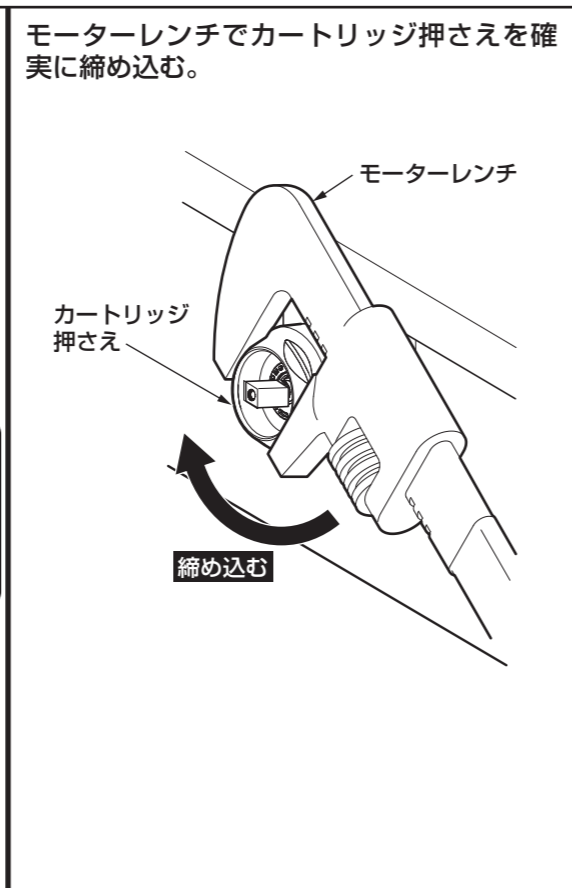
8 新しいカートリッジの取り付け

新しいカートリッジ(ブッシュ・パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。



9 カートリッジ押さえの取り付け

モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。
注意
 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓が回らないようにして締め込んでください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。



モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。
注意
 本体下部の二面取りをモーターレンチで固定し、水栓が回らないようにして締め込んでください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。
注意
 モンキーレンチ、プライヤーやパイプレンチは使用しないでください。十分に締め込みができなかったり、部品に傷がついたりするおそれがあります。

① カートリッジ押さえ部の側面にあるマIを正面に向け、ねじ部3カ所の位置をあわせる。
 ② 六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじを下図の順番に締め付ける。
1 最初は六角棒レンチの短い方を握って、3本すべて締め付ける
 ① 最初は六角棒レンチの短い方を握って、3本すべて締め付ける
 ② 次に六角棒レンチの長い方を握って、3本すべて締め付ける
 六角棒レンチを横にして90~120度程度増し締めする。

10 新しいクリックユニットの取り付け

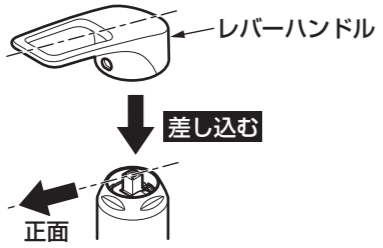
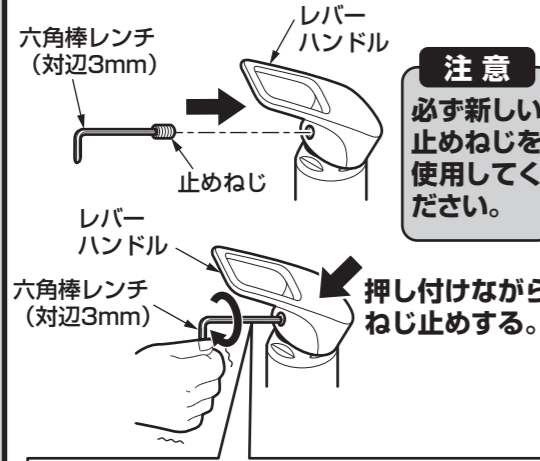
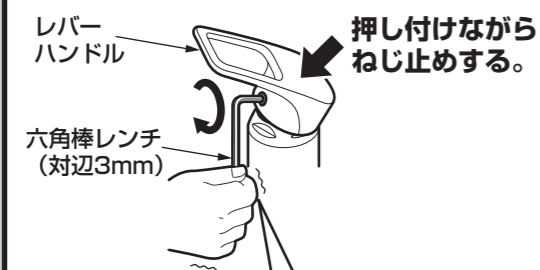
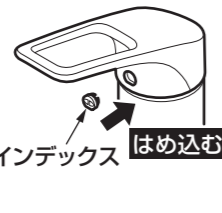
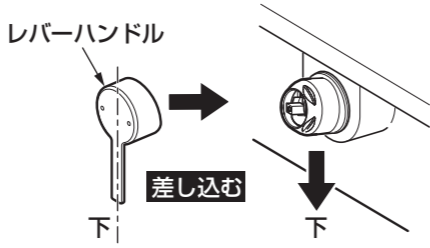
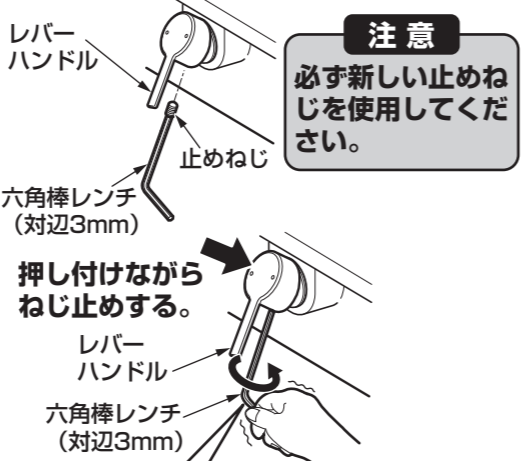


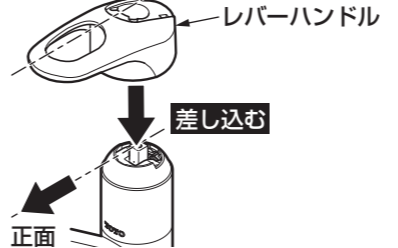
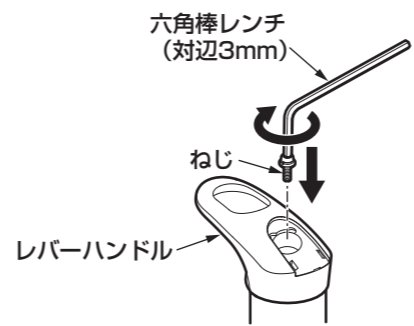
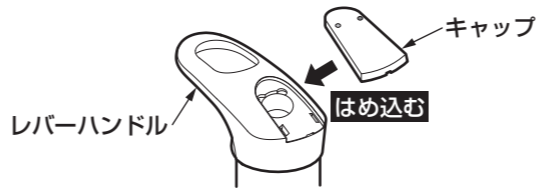
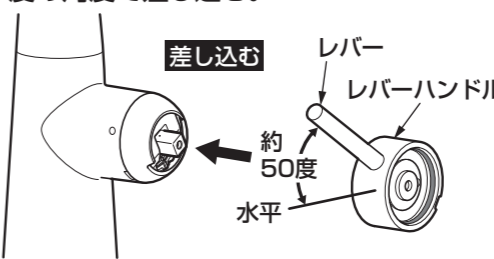
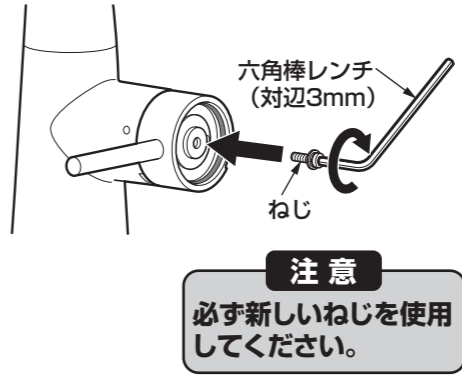
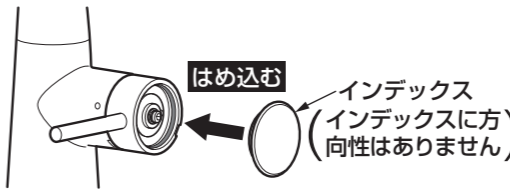
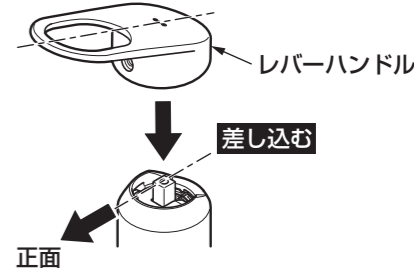
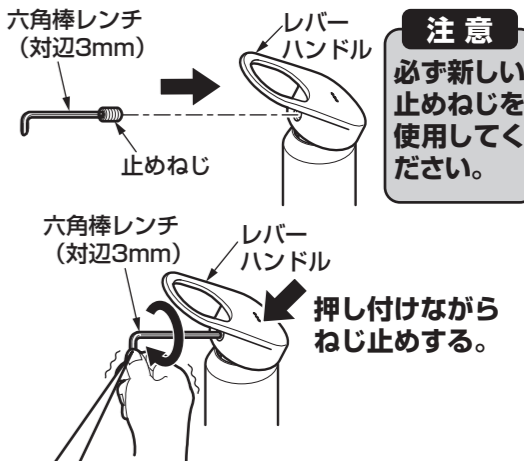
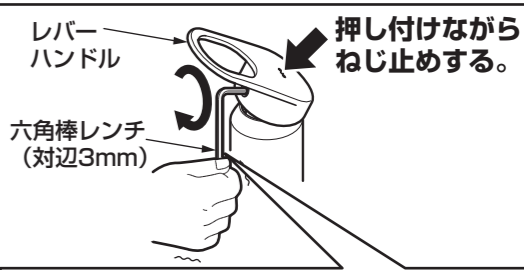

新しいクリックユニットを取り付ける。
注意
 クリックユニットは方向性がありますので注意してください。

新しいクリックユニットを取り付ける。
注意
 クリックユニットは方向性がありますので注意してください。

① 新しいクリックユニットを取り付ける。
注意
 ●樹脂カバーの向きに注意してください。
 ●TOTOマークが正面にくるように取り付けてください。

① 新しいクリックユニットを取り付ける。
注意
 カバーと本体の凹凸を確実にあわせて取り付けてください。

① 新しいクリックユニットを取り付ける。
注意
 カバーと本体の凹凸を確実にあわせて取り付けてください。

対象品番	TKHG30型・TKHG31型・TKHG32型 TKHG38型・TLHG30型・TLHG31型	TL488型・TL489型	TL385型	TKN35型	TKGG30型・TKGG31型 TKGG33型・TKGG36型
11 レバーハンドルの取り付け	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②下向きにレバーハンドルを押しつけながら新しい止めねじを締め付ける。</p>  <p>注意 必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止めする。</p> <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p>  <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60度程度増し締めする。</p> <p>③インデックスをはめ込む。</p> <p>注意 インデックスには方向性があります。</p>  <p>赤 青 <正面></p>	<p>①レバーハンドルを下にして差し込む。</p>  <p>②レバーハンドルを本体方向に押しつけながら新しい止めねじを締め付ける。</p>  <p>注意 必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止めする。</p> <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p>  <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60度程度増し締めする。</p> <p>③インデックスをはめ込む。</p> <p>注意 インデックスには方向性があります。</p>  <p>赤 青 <下></p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p>  <p>注意 必ず新しいねじを使用してください。</p> <p>③キャップをはめ込む。</p> 	<p>①レバーハンドルのレバーを水平から約50度の角度で差し込む。</p>  <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p>  <p>注意 必ず新しいねじを使用してください。</p> <p>③インデックスをはめ込む。</p> 	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②下向きにレバーハンドルを押しつけながら新しい止めねじを締め付ける。</p>  <p>注意 必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止めする。</p> <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p>  <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60度程度増し締めする。</p> <p>③インデックスをはめ込む。</p> <p>注意 インデックスには方向性があります。</p>  <p>赤 青 <正面></p>
	12 動作確認	必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか、確認する。			
13 止水栓を開ける	湯側、水側の止水栓または元栓を開ける。				
14 水漏れの確認	水漏れがないか確認する。				